

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターび〜と（放課後等デイサービス）				公表日	令和8年2月13日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1		1日の利用人数に対して、活動スペースが狭く感じることがあります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	構造化された環境になっています。活動内容で場所を分けています。入口やトレイにスロープや手すりを設置しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	こども達が来る前に、清掃や消毒などを行い、環境を整えています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3		十分なスペースが確保できていません。パーティションに対応しているが、別室があると良いと思います。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	年1回の事業所評価を実施しています。	取り掛かれる課題については、今後改善していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	ミーティングで疑問点や個々で気になることなどを意見交換（話し合い）しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	法人全体で第三者委員会を設置しています。	第三者の外部評価は行えていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	ミーティング時にスキルアップの為の研修を実施しています。	外部研修は勤務調整が必要なため、参加が難しい時があります。ZOOMの研修は参加しやすいです。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	支援プログラムを作成し、公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	こどもと保護者のニーズに寄り添った計画が作成されています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	ミーティング時や終礼時などに、こども達の様子や課題について共有しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	アセスメントツールを参考にし、発達段階に応じて作成しています。	アセスメントツールの見直しを検討しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		段階的に課題に取り組めるような支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	2	担当者が立案し、ミーティングで検討しています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	季節感や年中行事を感じられるような活動を取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	朝礼などでその日の活動内容や、子どもの状況について共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	活動内容や支援について関わり方など、気付いた点を話し合っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	毎日支援記録を記入し、終礼時に振り返りや支援方法について話し合っています。	記録を記入する時間の確保が難しい時があります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しを行っています。状況によっては相談支援専門員と情報共有しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3	2		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	各関係機関と密に連携を図っています。児発管や担当職員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	月初めに各学校のスケジュールをもらい、行事や下校時間との情報共有はできています。	下校時刻の変更等の連絡がないことがあります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	必要に応じて担当者会議に参加し、情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	必要に応じて情報提供しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		地域のこどもと交流する機会はないです。地域の方との交流や活動の機会を作れていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	自立支援協議会のこども部会に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時や連絡帳を通して、状況や課題について話ができています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に利用者負担均等について丁寧に説明を行っています。	支援プログラムの説明は行えていません。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	担当者会議や面談等で保護者の思いや意向を確認し、職員からも聞き取りを行い個別支援計画書を作成しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	1	支援内容について説明を行い、保護者が納得された上で同意を得ています。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	その都度、送迎時や電話などで相談や助言等の対応を行っています。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	2		父母の会はありません。 保護者会の開催を計画通りに行えていません。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情があった場合には、事業所内で共有し、迅速な対応を心がけています。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	2	法人のホームページには事業等は掲載しています。	SNS等は活用できていません。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	契約時に個人情報の取り扱いに関する内容の同意を得ています。 日頃から個人情報の取り扱いには気を付けています。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	情報伝達の漏れがないように、連絡帳又は電話にて確認を行っています。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	ハロウィンで他の事業所へ訪問するなど、地域交流を図っています。	地域交流の機会が少なかったです。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	各マニュアルは策定しており、職員には周知し、発生を想定した訓練は実施しています。	各マニュアルを保護者に説明できていません。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	業務継続計画の研修・訓練は実施しています。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	契約時や面談時に確認を行っています。 てんかん発作がある方の個別の対応を職員で周知しています。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	契約時に保護者へ確認しています。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画に基づき、事業所の設備や遊具の点検等を定期的に行っています。必要な研修や訓練は実施しています。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	事業所に掲示しています。	周知が十分でないので、契約時や面談時に丁寧に説明できるよう改善します。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットを事業所内で共有し、危機管理の意識向上に繋がっています。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止研修を定期的に受け、人権意識を高めています。	
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	必要な児童については、身体拘束適正化検討委員会で検討し、保護者にも理解していただいた上で、個別支援計画書に記載し同意を得ています。		